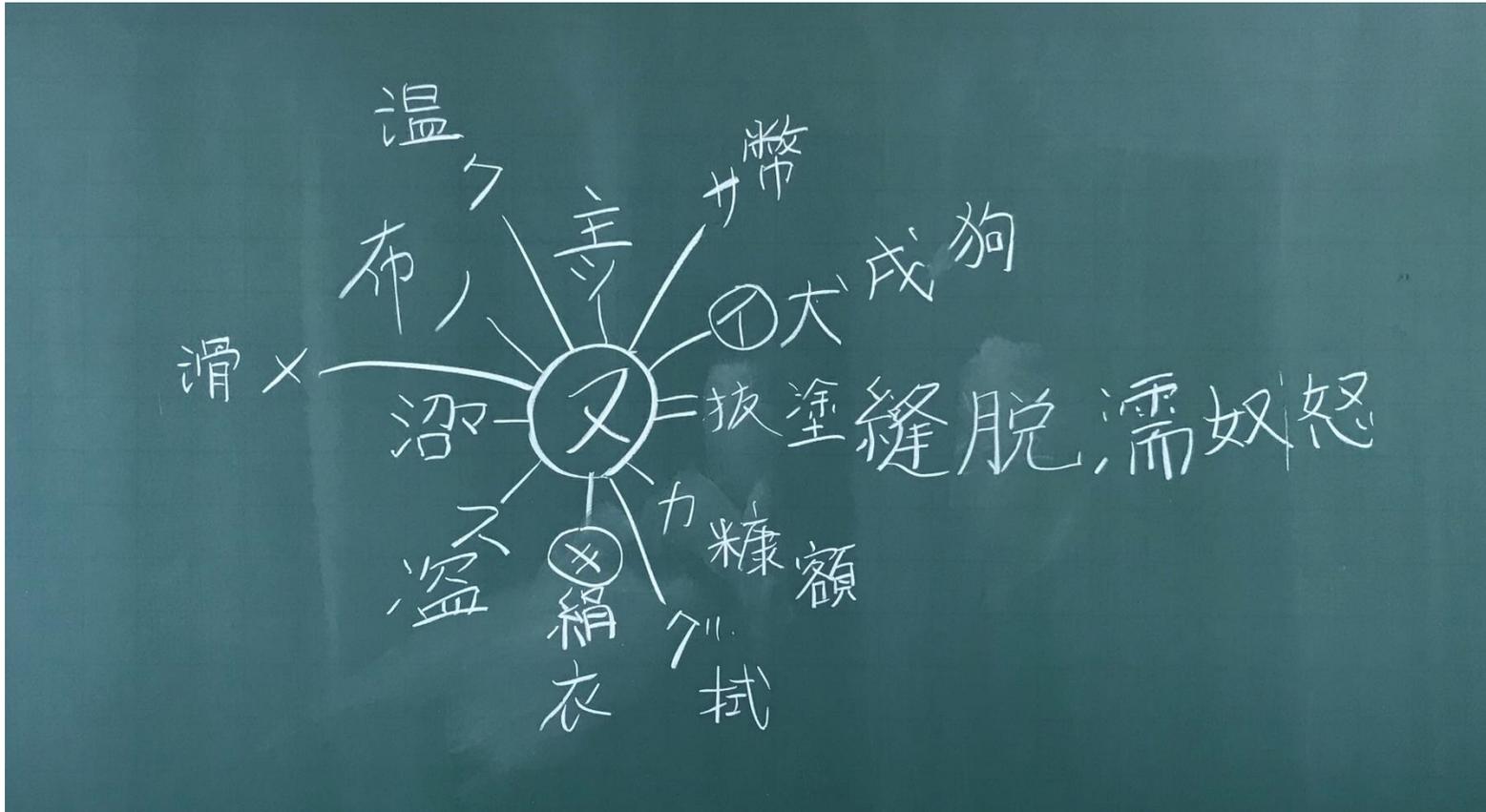


# 漢字の花火 又



音読みはほとんどない。奴、怒くらいか。あとはみな大和ことばだ。

濡れ、温い、沼、滑り、塗る、拭う、絹、布、糠……、なにか湿り感、肌触りのやさしさがあるのは、「又」の語感によるのか。「犬」の肌の滑り感……、「盗む」ことのじめじめ感……。

そうした日本語の語感を探求した本がある。黒川 伊保子『日本語はなぜ美しいのか』 集英社新書